

北イタリア治安情勢通報

～ モンテナポレオーレ付近にて、邦人被害の強盗致傷事案発生！～

地元の警察によると1月13日（月）夕方、高級ブティック街で知られるモンテナポレオーレ周辺において、邦人被害の強盗致傷事案が発生しました。ミラノ市内では昨年1、2月に治安の悪さが懸念されるミラノ中央駅周辺において、同様の邦人被害が発生しましたが、今回はブティック街での発生になります。

また先月報道の地元紙によれば、警察が当地の窃盗団を検挙した際、その捜査の過程において、とりわけ日本人をターゲットとしていた事実が判明しております。

1月のバーゲン（SALDI）、2月のファッションウィークと街中が混雑する状況が続きますが、犯罪被害が多いミラノ中央駅やドゥオーモ周辺はもちろん、どの場所であっても常に「邦人は狙われやすい」との意識を堅持して防犯対策を講じてください。

1. 強盗致傷事件の発生概要

1月13日（月）午後4時ころ、邦人夫婦がモンテナポレオーレ付近を散策中、妻（58歳）のカバンが外国人男性に擦られそうになったことから、夫（61歳）が制止したところ、顔面を頭突きされ唇を切る強盗致傷事件が発生。被害品はなく、夫の負傷程度は軽症であったが、犯人はいずれかに逃走。

2. 窃盗団検挙の捜査過程での判明事項（出典：12月18日付 コリエレ・デッラ・セラ紙 ミラノ版2、3面）

- 日本人は不用心かつ現金を多く所持しているとの窃盗団の認識（日本人のみ指摘）。
- 窃盗団は終日、路上・地下鉄等で犯行の機会をうかがっており、仲間内では「良さそうな日本人を見つけた」との通話。
- 地下鉄等の混雑する場所にて5～6人で取り囲み、スリを行う女性は、パーカーやジ

ジャケットの下に手を隠す。

- 妊婦による犯行（妊婦のため身柄拘束に制限あり）。
- 窃盗団にとってイタリアは「楽園」と認識しており、稼ぎは月に3万ユーロ、一日に1,500ユーロに達することもあり。

3. アドバイス

- 邦人は狙われているとの認識のもと、ターゲットにされない努力を

従前から邦人は狙われやすいといわれていましたが、先に記載のとおり、その事実が再認識されました。外出時は目立たないよう華美な装飾品、所持品は避け、リュックサック等は背負わず前に抱えるなど警戒している姿勢を周囲にアピールしましょう。

- 周囲に注意を払う習慣を

本事案被害は、犯行の前段階から尾行されていた可能性もあります。移動中も携帯電話に夢中にならない、携帯音楽プレイヤーの使用を控え、時折振り返る等の注意を払きましょう。

- 万が一を想定して

被害を最小限にするために、現金等の貴重品は必要最低限にしましょう。また、犯人が凶器を所持している場合もありますので、万が一、脅迫等にあつた場合には、生命、身体の安全を第一に考え、無理に抵抗しないようにしましょう。

本通報に関する問い合わせ先

総領事館代表電話：02-6241141 info@ml.mofa.go.jp